

第16回北大形成外科アカデミー

留学報告

堀内 勝己

教育講演

山本 有平

特別講演

堤田 新

4/11 (土) 16:00~

ルネッサンスサッポロホテル

代表：北海道大学医学部形成外科学教室 山本有平

事務局：北海道大学医学部形成外科学教室

運営委員長：小山明彦

〒060-8638 札幌市北区北15条西7丁目

e-mail：prs-info@med.hokudai.ac.jp

URL：www.med.hokudai.ac.jp/~plast-w/

INDEX

堀内勝己

市立札幌病院 形成外科

留学報告

留学報告：米国アラバマ大学形成外科
& ジョージタウン大学創傷治癒センター

p2

山本有平

北海道大学大学院医学研究科
形成外科学分野 教授

教育講演

顔面神経麻痺治療における新たな展開
～ Where are we going ?

p3

堤田 新

埼玉医科大学 国際医療センター
皮膚腫瘍科 講師

特別講演

形成外科での皮膚がん治療
／皮膚がん治療での形成外科

p4

第16回北大形成外科
アカデミー

2009 4/11
16:00～

ルネッサンスサッポロホテル

留学報告：

堀内勝己

市立札幌病院 形成外科

留学報告：米国アラバマ大学形成外科 & ジョージタウン大学創傷治癒センター

2007年12月から2008年11月までの1年間、米国のアラバマ大学形成外科、Vasconez教授の元に留学させていただきました。また、2008年10月には、Vasconez教授の許可を頂き、ワシントンDCにあるジョージタウン大学の創傷治癒センター、Attinger教授の元を訪問させていただきました。アラバマ大学では美容外科と乳房再建を、ジョージタウン大学では下腿、足の潰瘍を専門にした治療を数多く見させていただきました。この中から、アラバマ大学での乳房再建の現状と、ジョージタウン大学創傷治癒センターでの糖尿病性足病変に対する取り組みについて報告します。

教育講演：

山本有平

北海道大学大学院医学研究科
形成外科学講座 教授

顔面神経麻痺治療における新たな展開 ～ Where are we going ?

- ❖ 顔面神経麻痺の外科的治療：疫学、Overview
- ❖ 神経信号増幅を目指したnetwork型神経再建：
解剖、コンセプト、症例呈示、他施設端側縫合報告例
- ❖ 顔面表情筋のリハビリテーション
- ❖ 側頭枝麻痺症例に対する前額部／上眼瞼形成術：
術式、症例呈示、他施設吊り上げ法報告例
- ❖ 下顎縁枝麻痺症例に対する下口唇形成術：
術式、症例呈示、他施設筋膜移植法報告例
- ❖ 陳旧性完全麻痺症例の減少 ～不全麻痺症例をいかに治すか？

特別講演：

堤田 新

埼玉医科大学 国際医療センター
皮膚腫瘍科 講師

形成外科での皮膚がん治療 ／皮膚がん治療での形成外科

一般的に形成外科は専門性が高いと言われますが、その診療、研究分野は多彩で、形成外科の中でもさらなる専門領域へ細分化しつつあります。私は北大形成外科入局し、自分の専門とする分野を腫瘍（主に皮膚がん治療）として以来、これまでいろいろな方に出会い、ご指導いただき、お世話になりやってきました。ここまでこの道でやってこれたのも北大形成外科という母屋があったからこそです。

この度、長年お世話になった北大形成外科から埼玉医大国際医療センター 包括的がんセンター皮膚腫瘍科に移籍いたしました。

本講演では、皮膚腫瘍（外科）医として皮膚がん治療に対する現在の私の考え、思いをお話ししたいと思います。

• • • • • memo • • • • •